

建設・生産システム工学専攻			科学技術表現法				
学年	専攻科1年	担当教員名	山田 昌尚				
単位数・期間		2単位	前期	週当りの開講回数	1回	専門共通・選択	学修単位1
授業の目標と概要		技術者は、優れた研究や開発を行っても、それが具体的かつ説得力のある技術報告や学術論文として上司や学会に認められない限り成果とならない。本科目は、効果的な技術報告や学術論文を作成するために必要な文章技術の習得を目標としている。					
		釧路高専目標	A:5%,E:10%,F:85%		JABEE目標	b,d-2-b,f	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		・国語辞典(常用漢字表記のあるもの)を用意すること ・本科目では、4回の講義時間を使って試験を行う。この試験も技術文章作成の訓練の一部であるから十分準備して取り組むこと					
到達目標		・「常用漢字限定」など基本的なルールにもとづいた文章を作成できる ・作図力学にもとづいた図面作成ができる					
成績評価方法		合否判定:「4回連続試験の成績 - 欠席点(5点/回) + 演習問題集10点」が60点以上を合格とする (4回連続試験の方法とその評価については初回の講義で説明する) 最終評価:合否判定に同じ					
テキスト・参考書		教科書:「知的な科学・技術文章の書き方」,中島利勝ほか,コロナ社 「知的な科学・技術文章の徹底演習」,塚本真也,コロナ社 参考書:					
メッセージ							
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
オリエンテーション(1回) 作図(2回) プレゼンテーション技術(1回) 文章作成法(4回)				・作図力学にもとづいた図面作成ができる ・技術文書のルールにもとづいた文章を作成できる			
前期中間試験				実施しない			
技術者倫理(1回) 実験計画法(1回) 試験(4回) 試験の解答・解説(1回)				・論文や技術文書を書く際の倫理について説明できる ・計画的な実験の方法について説明できる			
前期期末試験				実施する			
後期中間試験							
後期期末試験							